ボーリング柱状図

ボーリングNo.

D1-3 (A)

都市計画道路3.4.32号線(本町田)土質 部 名 調査委託 事業·工事名 ボーリング名 NO.1 (NO.14+11, R=4m)調查位置 東京都町田市本町田地内 北 緯 発注機関 調查期間 平成11年12月21日~11年12月24日 東京都町田市役所 東 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 地紫云配 使用機種 北 ハンマー 方 試錐機 孔口標高 D 0 - C トンビ 水平『 上 +91.93m 體口 落下用具 下中 東 総掘進長 エンジン N F D - 1 0 K ポンプ 24.31m V - 6 向 180 南 孔内水位 深 準貫入試験 標 層 柱 土 色相相 記 原位置試験 試料採取 掘 深 10cmごとの 打 試 験 名 深試採 質 対対 進 値 N および結果 打擊回数 (m) 状 高 厚 度 料取 -- 0 --度 度 測定月日 区 密稠 月 番方 (m)|10|20|30 分 調度度 (m) 号法 H 図 (m) (m) (m) (m) 木根、草根を多量混入。黒ボクから 表 91.23 2 5 32 暗 1 m付近、草根混入。含水少ない。 1.47 茶 位 スコリア、浮石少量混入。 2 3 2.15 炭化物少量混入する。 30 ? 2.45 89.03 硬 浮石を多量混じる。スコリア混じる 3.15 4 3 10 硬質口 30 10 褐 い。やや粘土化している。 3.45 2 2 粘土質 3 4.15 スコリア、浮石少量混入。 30 4.45 粘着性極めて強い。スコリア、炭化 物を混入。 凝灰質 軟ら 5.15 5 1 33 かしょ 86,33 5.48 凝 $\frac{1}{8}$ $\frac{2}{14}$ $\frac{4}{30}$ 4 6.15 暗 灰 スコリア、浮石、炭化物を少量混じ 5 6.45 質 茶 7.00 か 含水中位。 粘 褐 63 D1-1 (D) 土 3 4 10 30 全体に凝灰質である。炭化物、浮石 を少量混入。 微細砂全体に混入。雲母片点在。 8 8.15 7.95 8.45 粘 8 24 9 9 9,15 全体に粘土多量含む。また、凝灰質 30 24 9.45 中 質 黄 20 30 20 10.15 6 位 10m付近、所々塊状に粘土混じる 微 灰 10.45 0 細 11m付近、粘土含有量多い。 6 14 11.15 砂 30 80.33 11.45 濱耜 黄褐中位 79.83 3 -12 12.15 3 30 10 粘 12.45 土 12.5~13m付近、粘土塊状に 中 8 9 24 黄 質 位 30 14m付近、粘土全体に混じる。 微 褐 13.45 0 炭化物、浮石少量混じる。 23 30 23 9 9 5 14.15 14.45 15.00 D1-2 (D) 23 30 7 10 6 16 15.95 16.45 含水中位~やや多い。炭化物、浮石 7 | 10 22 30 22 17.15 5 を極少量混入する。 12/247.45 18.14 18.15 粘 16m付近、局部的に粘土混入量多 20 30 20 5 6 9 -18 18.15 \pm 中 暗 17m付近、粘土塊状に混じる。 18.45 現場透水試験 黄 位 18m付近、含水多い。 23 30 23 19.15 8 8 -19 19.00 19mから全体に粘土分多く、塊状 灰 D 19.45 細 粘土も多い。 20m付近、局部的に固結した所が 20.15 3 5 6 14 -20 砂 30 14 見られる。 20.45 21m付近、固結粘土の薄層挟む。 30 9 14 -21 21.15 30 30 21.45 9 15 6 30 -22 30 30

22.45

23,15

24.15

固結 全体に像細砂湿じる。砂質である。 した 浮石、雲母片点在。 含水やや多い。粒子細かく均一。雲 母片少量混じる。

泥 岩 暗灰

-23

67.62

68.33 0.40 23.60

13 24 13 5

24 26 50 25 60

50 16 93.8